

キャッチボールクラシックのルール

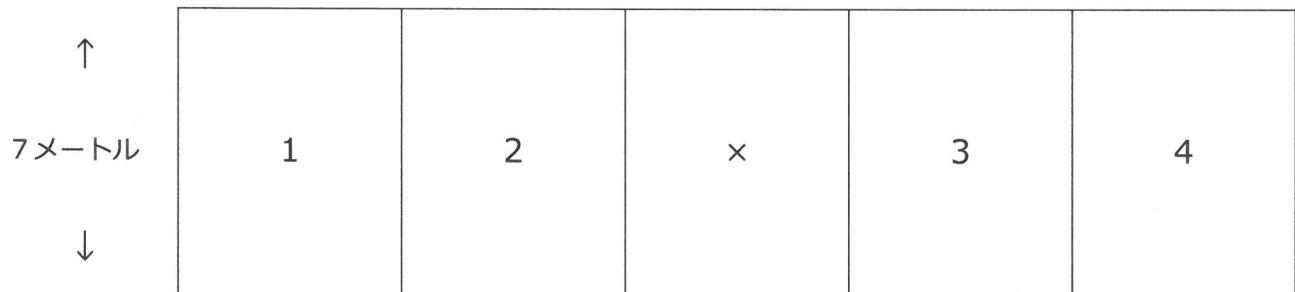
日本プロ野球選手会

1. 1チーム9人で編成。5人と4人に分かれ、7メートル離れて向き合います。
2. 5人の側の先頭の選手がボールを持ち、スタートの合図とともに、向き合った相手にボールを投げます。
3. 投げ終わった選手は自分の列の最後尾につきます。ボールをとった選手も、次に向かい合った相手にボールを投げ終わったら、自分の列の最後尾につきます。これを時間内に繰り返します。
4. 制限時間は2分間。
5. 1チームに1人審判がつきます。投げたボールを相手がキャッチしたのを1回と数えます。終了時に空中にあるボールはノーカウントとなります。
6. 捕球時にラインより前に出た場合、又は空中であっても足がラインにかかっている場合はカウントされません。ただし、ラインにかかっていたり前に出た場合、送球時にラインの後方に戻って送球すればカウントします。
7. ボールを後ろにそらしてしまった場合は、後ろに並んでいる人が捕りに行ってもOK。ただし次の投球は、そのボールを捕る順番だった人から再開しなければ回数はカウントされません。本来の順番選手が投げなければカウントされません。ボールを前に落としてしまった場合は、前に捕りに行って、ラインの後ろまで戻った時点で回数がカウントされます。もし、そのままラインの前から投げた場合は、回数はカウントされません。
8. 2分たったところでゲーム終了の合図をします。その時点で空中にあるボールは数に入れません。キャッチボールが成立した回数がチームの記録となります。
9. 大会出場チーム数によって、2回戦進出のチーム数が変わります。

※ 日本プロ野球選手会 キャッチボールクラシックを参照してください。

試合フィールドイメージ

←5メートル→

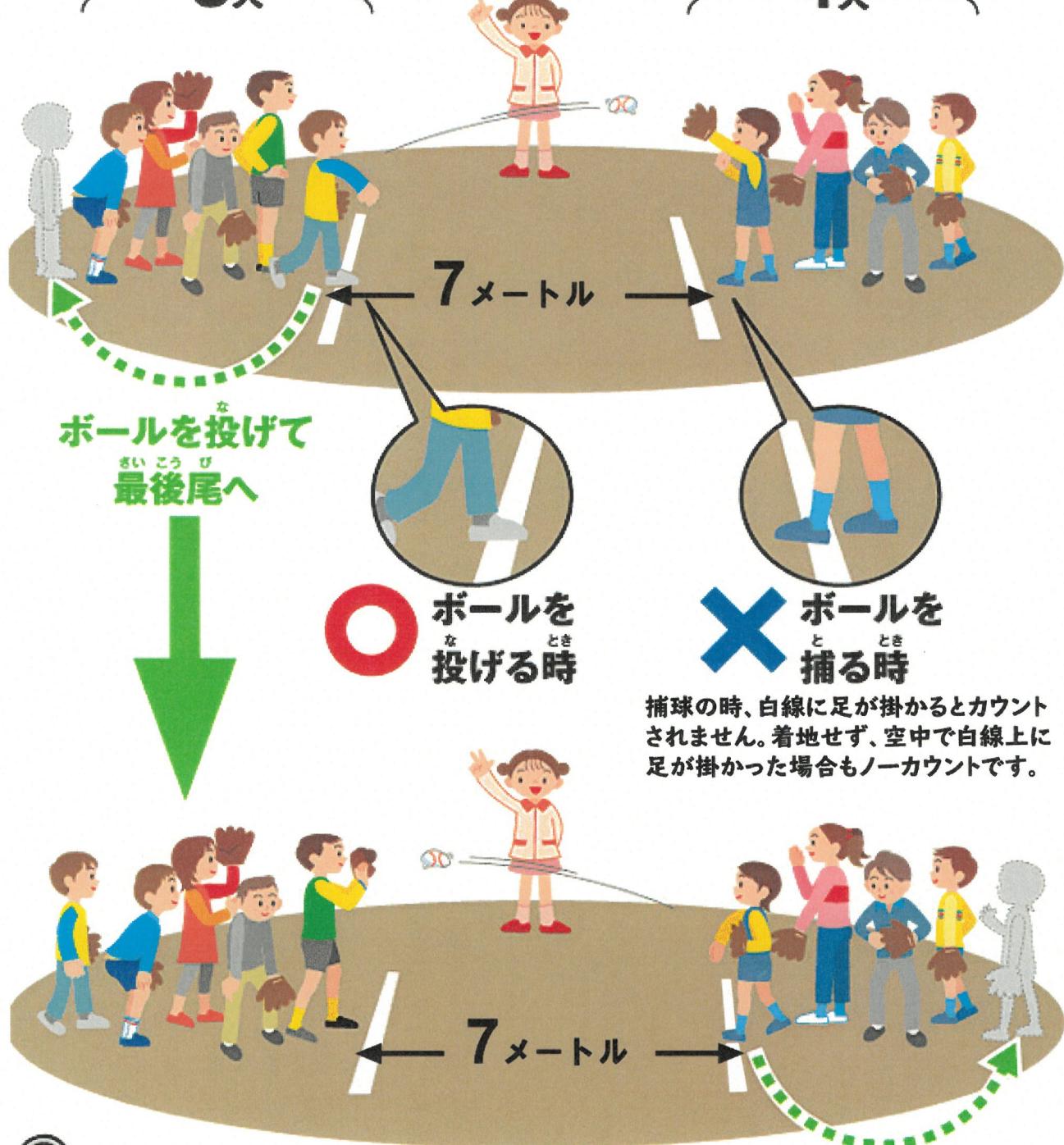


ルールを覚えよう

1チーム
9人だよ

5人

4人



せい けん じ かん
制限時間は2分間
ふん かん

ボールを投げて
最後尾へ